

**第5期横浜市港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」素案  
区民意見募集の結果概要について**

**1 実施概要**

(1) 期間

令和7年8月29日（金）から9月30日（火）まで

(2) リーフレット配架先

港北区役所、港北区社会福祉協議会、港北区内地域ケアプラザ、港北図書館、  
基幹相談支援センター、生活支援センター

(3) 回答方法

電子申請、電子メール、FAX、はがき（リーフレットに記載のもの）

**2 結果**

(1) 総数

総計 49 件（18 名・団体）

(2) 提出方法の内訳

方法	件数	割合
電子申請	7	39%
電子メール	5	28%
FAX	0	0%
はがき	6	33%
計	18	100%

(3) 意見の分類

項目	件数	割合
ア 計画全体に関すること	14	33%
イ 3つの柱または6つの重点目標に関すること	21	43%
ウ その他（質問・感想・個別分野の福祉施策への意見等）	14	24%
計	49	100%

(4) 対応の分類

項目	件数	割合
① 意見を踏まえ、原案に反映するもの	7	14%
② 意見の趣旨が素案に含まれているもの又は素案に賛同 いただいたもの	16	33%
③ 今後の検討の参考とさせていただくもの	9	22%
④ その他（質問・感想・個別分野の福祉施策への意見等）	17	31%
計	49	100%

3 いただいたご意見及び対応分類一覧

ア 計画全体に関すること

番号	対応分類	要旨
1	③	各機関が実施主体となっているが、どれぐらいの進捗を見込んでいるかがわからない。
2	③	全体的に抽象度が高すぎるので、何がどう具体化されていくのかを検討してほしい。
3	②	計画は良くできている。
4	③	ひっとプラン港北の解説動画に手話をいれてもらいたい
5	③	イベント等で、多くの人が意見を交わせる場を設け、地域の歴史や思いを次世代へつなぐことが重要。
6	③	地域での取り組みを広く知ってもらうためのキャンペーン的なイベントがあるとよい。
7	③	コロナ後の活動再開は不十分であり、地区センターやコミュニティハウスを地域福祉保健計画にもっと有効活用する仕組みが必要。
8	③	各地区での、課題を明確にして、それらに対するより具体的なアクションを、試行的に実行しながら考えるようにしてほしい。
9	①	広報について、デジタル技術の活用は当然だが、大切なのは人から人への誘いである。
10	②	住民・団体・企業など多様な主体が広く参加できる機会を積極的に設け地域課題の共有から始めることが重要である。
11	②	計画案に協力する。
12	③	第5期終了時に地区毎、区全体の成果評価をすることが望ましい。
13	①	認知度調査を共有してほしい。
14	③	第5期計画の推進には、全区的な具体的活動を明示し、計画案を示すことで、地区別計画の推進力にもつなげる。
15	①	区民意識調査での調査結果など、計画の実現性の裏付けがあるとよい。
16	②	地区ごとのテーマに沿った団体連携が進み、計画の定着と厚みが増してきたと感じる。

イ 3つの柱または6つの重点目標に関すること

番号	対応分類	要旨
17	③	重点目標1(つながりづくり)について、個々の事情や負担を考慮すると、活動を縮小し、本当に必要な活動に注力することも必要になるの <b>で</b> 。
18	②	支援できているのは一部に限られている。若い世代にも広く知ってもらい、参加者を増やす必要がある。
19	①	IT化で対面が減る中、顔を見て対面で話すことが重要。
20	②	「様々な年齢、立場、背景や価値観、の多様性を認め合う地域をつくる」という重点目標はよい。
21	①	地域には多様な人が暮らしているため、行事やイベント等、年齢や立場、多様な人々が交流することが大切。
22	②	重点目標が6つに整理されて推進の柱に重層的につながったのはよい。
23	①	地区別計画での取り組み例について、もう少し詳しい方がよい。
24	②	地域での交流が薄くなっているので、「誰もが参加できるもの」を見つけて、地域福祉に繋げることを願う。
25	②	ひっとプランの広報は、デジタル技術をうまく活用した方がよい。
26	③	重点目標6(防災)について、マンションでは隣はどのような方が住んでるかもわからないと思うので、まずはコミュニケーションを取る <b>こ</b> が大切。
27	②	障害者家族にも興味を持つような繋がりを作って欲しい。
28	④	重点目標3(子ども)について、保育前の家庭を地域につなげるには、保健師の情報力を活かし支援と情報提供の仕組みを強化することが重 <b>要</b> 。
29	④	重点目標3(子ども)について、出産時だけでなく、すべてのご家庭に長期にわたって関わる制度がある <b>よ</b> い。
30	②	孤立しがちな各世代への支援が不足しており、状況に応じた小さな伴走支援の試行が求められているため、早急な対応が必要。

①意見を踏まえ、原案に反映するもの

②意見の趣旨が素案に含まれているもの又は、素案に賛同いただいたもの

③今後の検討の参考とさせていただくもの

④その他（質問・感想・他所管の事業に関すること等）

番号	対応分類	要旨
31	②	どの地域も人材確保が一番の課題だと思うので、最優先に、具体策を考えてほしい。
32	②	「安心できる居場所」を求める声に応え、各地域で小さくても真剣に居場所づくりと支援を進めることが重要。
33	②	重点目標1(つながりづくり)1、重点目標2(支援)に書かれている取り組みについて、是非とも積極的に取り組んでいただきたい。
34	④	重点目標3(子ども)の具体的な取組で「お出かけマップ」や「子育て応援缶バッジ」の活用状況を成果や課題として計画に反映すべき。
35	①	既存の居場所を活用し、学生や当事者家庭の参画を促すことで、ひっとプランへの関心と参加を広げることが期待したい。
36	②	高齢者と子供達が、自然に関わる事ができる場があればよいと思う。
37	②	年齢問わず楽しめる場作りが魅力的なので、第5期以降も続けて欲しい。

ウ その他（質問・感想・個別分野の福祉施策への意見等）

番号	対応分類	要旨
38	④	自転車の安全運転について、知ること及び自転車専用レーンを増やしてほしい。
39	④	菊名地区の避難場所である菊名小学校は適切ではない。
40	④	小中学生の居場所に関して、不登校、ヤングケアラー、ひとり親支援等、重層的につながる児童館に代わる拠点の設置に取り組んでいただきたい。
41	④	公園での遊び方の制限が多い中、ボール遊びが公式に許可された公園が欲しい。
42	④	近年の温暖化により、日影が少ないため健康被害がある。日影や休めるベンチがほしい。
43	④	地域に図書館やプールをもっと増設して、健康やレクリエーションにつながる施設の増加を望む。
44	④	安全のために駐輪場が欲しい。
45	④	退職後の男性の居場所づくりには、サービスBの活用と個別の伴走支援が有効。
46	④	区民が気軽に農業体験できる場を増やすことで、農地の保全と自給率向上のきっかけにつなげたい。
47	④	駐車場の前の通りで事故が多く、近隣には高齢者が多く住んでいるので心配。
48	④	地域に図書館やプールをもっと増設して、健康やレクリエーションにつながる施設が増えてほしい。
49	④	自動販売機を増設するなど、熱中症などの暑さ対策ができる場所やものが増えてほしい。